

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要					
建物名称	CFS				
建設地	北区 横土居字六本山2070番地 外79筆				
用途地域	工業専用地域、市街				
建物用途	工場				
竣工年	2011年11月 予定				
敷地面積	13,958.00 m ²				
建築面積	3,745.20 m ²				
延床面積	3,745.20 m ²				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2011年7月5日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{38}{37} = 1.0$		
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★☆☆ B: ★★☆☆☆ C: ★☆☆☆☆					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.9		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		維持管理	Q2.1.3	-
			更新性	Q2.3.3	3.9
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア -		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	-
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		節水	LR2.1.1	1.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	1.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。 ・屋根、外壁等は、臨海地区の塩害を考慮し、耐候性に配慮した仕上げを採用しています。 ・作業場内は、セラミックメタルハライド灯を採用し、省エネルギーに貢献します。					

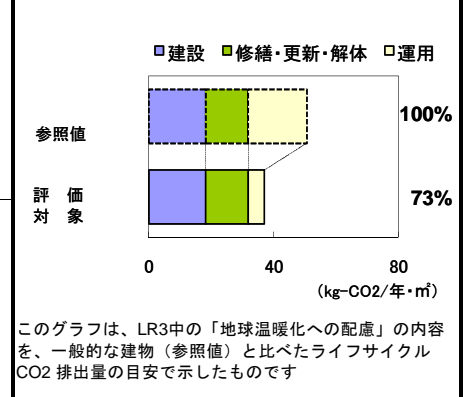
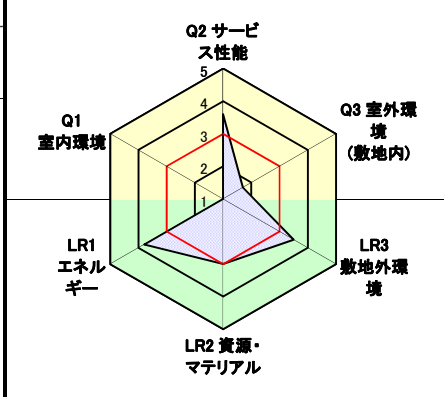
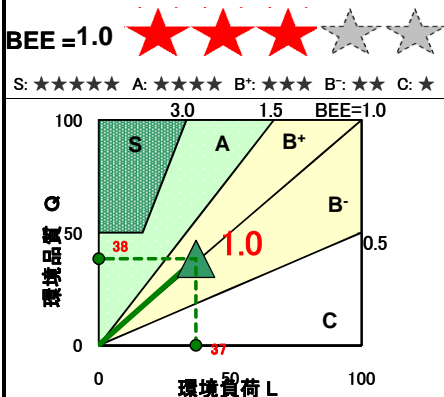
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

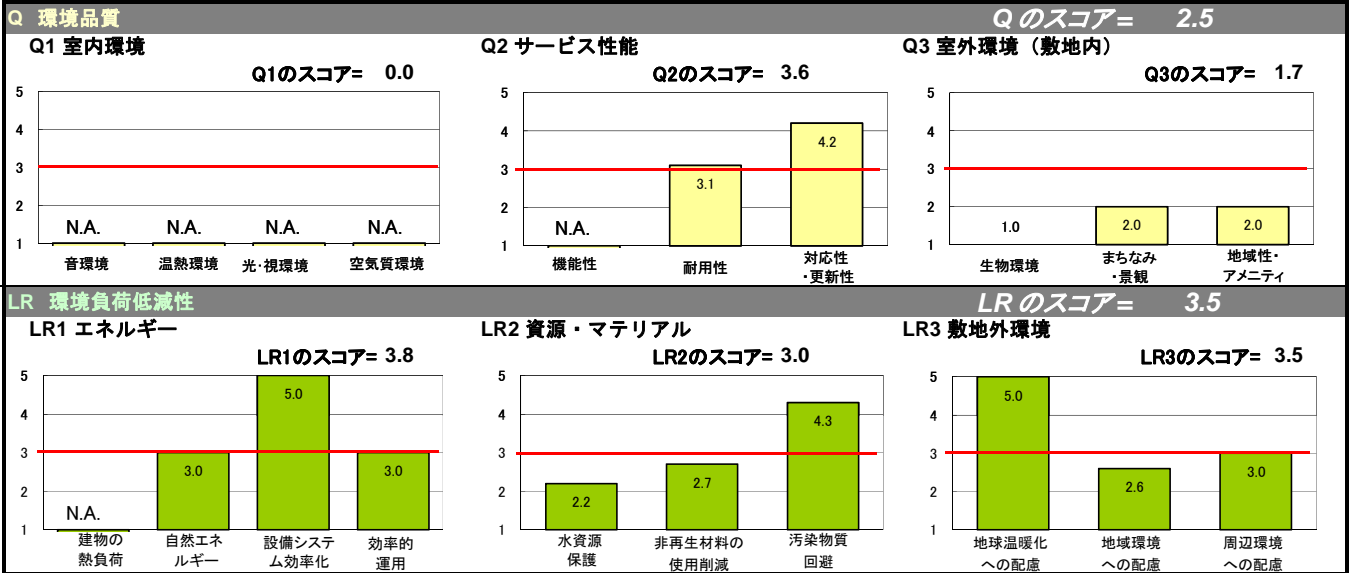
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 既存の施設と同等の建物であるが、運用面での環境性能に配慮した設計とする。		その他 特に無し。
Q1 室内環境 作業場である為、音環境・温熱環境に対して、配慮していないが、作業時には常時シャッターが開放されることから、自然換気性能が向上。	Q2 サービス性能 作業の特性上、大空間を確保する。外部に使用する機器等は、耐候性に配慮。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の高さは、既存建物と同様として、突出した景観とならないように配慮する。
LR1 エネルギー 作業場内の照明機器については、ランニングコスト等の運用面に配慮する。	LR2 資源・マテリアル フロンハロンの回避等に配慮。	LR3 敷地外環境 大気汚染、騒音、振動、悪臭等の発生元はほとんど無い様に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される